

9月定例会 平成30年度一般会計補正予算(第3号)

5,385万9千円を増額

9月定例会は福井しあわせ元気国体・障スポの機運醸成のため、国体ポロシャツを着用しました。



- 一般会計予算総額は145億5,607万6千円に
きどはしまさお
- 副市長に城戸橋政雄氏を選任することに同意(9月19日現在、総務部長)
- 決算審査特別委員会を設置
委員長 三上 薫 副委員長 仁佐 一三
委員 堀田 あけみ 室谷 陽一郎 山口 志代治 毛利 純雄 杉本 隆洋 八木 秀雄

平成30年9月定例会が8月28日から9月19日までの会期で開催されました。今回の定例会では、専決処分の承認に関するもの1議案、決算の認定及び剰余金の処分に関するもの10議案、補正予算に関するもの2議案、条例の改正等に関するもの3議案、市道路線の廃止に関するもの1議案、人事に関するもの1議案の計18議案が上程され、決算の認定等を除く8議案はすべて原案のとおり可決・同意されました。決算の認定等については、決算審査特別委員会に付託し、閉会中に審査することになりました。

また、今回は9名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。その他、陳情2件を採択し、議員発議による意見書2件が可決されました。

議会日誌

おもな会議のみ掲載

- 8月4日 議員会研修会(～6日)
- 7日 議会活性化特別委員会
- 20日 議会運営委員会
- 21日 全員協議会
- 28日 第94回議会定例会(開会)
- 29日 決算審査特別委員会
- (～9月25日・10月19日～25日)
- 9月4日 全員協議会
- (～5日)
- 5日 全員協議会
- 10日 総務教育厚生常任委員会
- (～11日)
- 12日 産業建設常任委員会
- 18日 議会運営委員会
- 19日 全員協議会
- 19日 本会議(閉会)
- 20日 広報編集特別委員会
- 20日 議会活性化特別委員会
- 21日 環境対策調査特別委員会
- 10月10日 総務教育厚生常任委員会
- 産業建設常任委員会
- 行政視察(～11日)
- 16日 全員協議会
- 16日 広報編集特別委員会(～29日)

坪田 正武議員 逝去

坪田 正武議員が去る10月29日に逝去されました。ここに謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。



総務教育厚生常任委員会

インターネット中継で審査状況をご覧になれます。

平成30年度
一般会計補正予算

■総務課
会計年度任用職員
制度整備支援業務
委託料
118万8千円

委員 会計年度任用職員制度とはどのようなものか。理事者 市の一般職員には常勤職員と非常勤職員がいますが、非常勤職員の採用方法や任期等を明確にするため、平成32年4月から施行するものです。

委員 なぜ、業務委託が必要なのか。理事者 制度の施行に伴い、すべての例規を洗い出し、整備するとともに、要項等の改正も必要になるため、専門業者に委託したいと考えます。



绍兴市友好訪問団(あいさつする盛岡春市長)

日本中国友好協会
活動事業補助金
94万円

委員 中国の紹興市と友好都市を結んで35年となるが成果はあったか。また、今後どうしていくのか。

理事者 中国の紹興市は毎年交流しており、訪中した生徒は、中国の現状を見て大きな刺激を受けています。今後は、藤野殿九郎生誕の地であることを宣伝し、観光誘客につなげたいと考えています。

政策課

休校利活用事業
運営計画策定業務
委託料
360万円

委員 休校の維持管理には、今後も市の負担が必要になるが、民間に売却すれば、固定資産税が入り、雇用促進につながる

可能性もある。売却する考えはないのか。理事者 波松、吉崎ともに地元の検討委員会で協議していますが、両地区とも、地域活性化のため休校を利活用したいとの意向なので、これを支援していきたいと考えています。

生活環境課

特定空き家等除去
支援補助金(2件分)
100万円

委員 特定空き家の基準はどうなっているか。理事者 空き家等に関する特別措置法で、①倒壊の危険がある②衛生上有害である③著しく景観を損なう④生活環境を保全する上で不適切、の基準が定められていますが、実際は、区長等からの情報を基に、職員と専門家で建物の状態を判断し、空き家等対策協議会に諮って認定しています。



休校中の波松小学校



特定空き家の例

産業建設常任委員会

インターネット中継で審査状況をご覧になれます。

平成30年度
一般会計補正予算

■農林水産課

収益性の高い水田農業経営確立支援事業

121万円

委員 認定農業者に対して、農業用機械の購入に必要な経費の一部を補助するための補正で、県の補助金に上乗せするものだが、県の審査はあるのか。

理事者 県に要望を提出し内報をもらっています。今後は計画書を提出し、県で審査した後、内示をもらいます。なお、完成後は完成検査もあり、3年間は利用実績を報告しなければならぬことになっています。
委員 田植え機392万4千720円は妥当な金額か。



田植えの様子

■観光商工課

駅西口エリア活用促進業務委託料

500万円

委員 福井銀行の実績を活かし、JR芦原温泉駅西口エリアの活用促進を図るための補正とのことだが、委託料500万円は今後も継続するのか。

■建設課

除雪機械整備事業補助金(除雪機4台分)

600万円

委員 業者は既に除雪機を所持している。それでも市が補助するということは、市道の除雪を条件としているのか。

■新幹線まちづくり課

芦原温泉駅周辺整備事業

3千800万円

委員 西口駅前広場、西口駐車場の基本設計等に要する経費とのことだが、議会報告会において、市民から立体駐車場より駅前整備を優先すべきとの意見があった。駅周辺整備より先に立体駐車場整備を進めると、再度、同様の意見が出る。駐車場整備をもう少し遅らせてもいいのではないか。

理事者 駅本体の高架化や東西自由通路など、様々な整備計画がある中で、鉄道運輸機構とJR



西口駅前広場整備イメージ

と市で三者協定を締結して進めています。全ての工程を組んだ場合、整備箇所が工事ヤードに利用されることもあり。また、交通広場の整備が始まると駅前駐車場が利用できなくなるので、東口駐車場に仮設駐車

場を予定しています。それを整備してから、ようやく西口駐車場に取り掛かることとなります。新幹線開業までという限られた期間内、全ての工事を完了させようとした場合、西口駐車場から進めなければなりません。

市政について問う!

9月の定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)

インターネット中継で一般質問をご覧になれます。



■吉田 太一 議員

●あわら市内の祭りをどう観光事業につなげていくか

■堀田 あけみ 議員

●JR芦原温泉駅周辺景観整備事業について
●総合行政情報システム管理について

■山口 志代治 議員

●あわら市における林業の将来について
●空き家対策のその後について

■向山 信博 議員

●猪対策について

■八木 秀雄 議員

●坂井北部丘陵地の農業振興について

■室谷 陽一郎 議員

●あわら市公共施設等総合管理計画について

■平野 時夫 議員

●中学2年生へのピロリ菌検診について
●木造市営住宅問題について

■山川 知一郎 議員

●国保税の引き下げを
●金津創作の森について

■仁佐 一三 議員

●健康長寿祭について
●北潟湖畔観月の夕べについて

あわら市内の祭りを どう観光事業につな げていくか



吉田 太一 議員

吉田 金津まつりとあわら湯かけまつりの補助金はいくらか。
市長 金津まつりについては、360万円を金津祭保存会に、あわら湯かけまつりについては、300万円を実行委員会に交付しています。

吉田 二つの祭りの消費額はいくらか。
市長 消費額の詳細な金額を算定することは困難ですが、その経済波及効果をはじめ、こうい

う祭りには地域の活性化や伝統文化の承継など、さまざまな効果があると認識しています。
吉田 二つの祭りに対し



金津まつり山車巡行

て市や観光協会はどこまで関わっているのか。
市長 二つの祭りは、いずれも地域の市民で構成する任意団体が主体となり、企画・運営を行っています。市や観光協会は、金銭的な補助のほか、各種調整事務などに協力しています。
吉田 観光事業としての祭りはどの程度の役割を果たしているか。また、市内の祭りをどう観光事業につなげていくのか。
市長 観光事業として開催する祭りとしては、観光客や観光消費額の拡大につながることを重要です。
宿泊地を有するあわら市にとっては、祭り単体での集客だけではなく、祭りを核に宿泊や周辺観光地を組み入れた旅行プランを作成してもらうなど、観光消費額の拡大につなげていく仕組みづくりを進めていくことが重要であると考えています。



**JR 芦原温泉駅
周辺景観整備事業
について**

堀田 県道芦原温泉停車場線の無電柱化整備に合わせて、民間の景観形成を誘導する補助制度などを考えているか。
市長 福井市などにおいて、景観重点地区等を整備した際に、建築物の外観などに対する補助制度があります。

あわら市における、このような補助制度の創設については、これまでの市民との協働事業での実績を踏まえた上で、必要性・投資効果を検討したいと考えています。
堀田 空き家、空き店舗を活用したまちづくりをどのように考えるか。



芦原温泉駅前商店街

市長 空き家や空き店舗の活用を図る取り組みとしては、店舗賃借料の一部を助成する事業を行っており、これを活用して雑貨店や飲食店が出店しています。
芦原温泉駅前の商店街において、その商店のほとんどは店舗兼住宅であるという特徴から、新規創業者が空き店舗へ出店しにくいというのが現状です。
今後、商工会などとも連携しながら、空き家や空き店舗への出店を促進する創業支援や事業承継施策などについて検討し、支援していきたいと考えています。

**総合行政情報
システム管理について**

堀田 システム障害による影響及び被害額はどの程度であったか。
総務部長 現時点で実損失額(超過勤務手当、電気料等)は、50万円を超えるものでした。

堀田 システム管理業者との連絡体制に不備はなかったか。また、契約に違反したものはなかったか。
総務部長 システムの更新作業については、連絡体制が不十分であったと考えられます。また、事前の通知がなかったことは、契約に定める義務に違反するものと考えています。

なお、来年の5月を目途に、システム障害が起きた場合でも別の環境が直ちに起動して業務が存続できるように、新たなシステム構築を進めています。



**あわら市における
林業の将来について**

山口 昨年から続く台風や大雪による森林・林道被害とその対応はどうなっているか。

市長 台風21号による清滝地係の大規模災害は、治山事業により、県が復旧作業に当たっています。

そのほかの被災のあった林道では、牛ノ谷は県単災害復旧工事として工事を進めており、鎌谷、東山は坂井森林組合が対応しています。
復旧に要する費用については、国や県の補助金を除いた額の2分の1ずつを、市と受益者である地元がそれぞれ負担しています。

**山口 森林環境税のあ
わら市への交付額、その
用途はどのようになっ
ているのか。**

市長 県の試算によると、来年度から3年間は500万円、その後の3年間は800万円、それ以降も段階的に増額されると想定しています。

市としては、地域林業が活気づくよう、県や林業関係団体との連携を密接にし、適切な林道管理や搬出間伐の促進、地元産材の積極的な活用などに取組んでいきたいと考えています。
山口 刈安山森林自然公園に、木や野鳥の名前等の表示看板を設置できないか。
市長 野鳥や樹木の情報を散策マップに掲載したいと考えています。
また、刈安山森林自然公園において、樹木名などの表示板の設置を検討していきたいと考えています。

**空き家対策のその後
について**

山口 空き家等の利活用事例を取りまとめ、マニュアル化して、今後活用できないか。
市民生活部長 今年に入って、県の新規就農支援施設「ふくい園芸カレッジ」に入校した3人が、空き家をシェアハウスとして利用するという事例がありました。こうした新たな発想による事例も増えてきていることから、さまざまな事例をモデルとしてPRすることにより、移住・定住促進や人口減少対策にもつながっていくものと考えています。



空き家バンクの登録物件



猪対策について

向山 前市長との議論において、鳥獣害対策の専門部署を設置することであったが、職員1名の増員では不十分でないか。
市長 現在、配置されている職員2名について、捕獲の連絡を受けると土日問わず現場に駆けつけ、猟友会とともに作業を行うなど、昨年より円滑かつ速やかに事務や作業が行われていると感じています。

今後は、これまで以上に県と密接な連携を図るとともに、集落の実態や要望をしっかりと聞き、先進的な事例なども調査研究し、更に体制の強化を図りたいと考えてい

**向山 農家数が少なく、
金津地区鳥獣害対策協
議会の会費や固定柵の
負担金が払えず、苦し
んでいる集落をどうする
か。**

市長 金網固定柵の整備に関して、世帯数の少ない集落は、一世帯当たりの負担が大きく、整備がなかなか困難であると聞いています。県への重要要望の中で、金網固定柵の整備に対する県の上乗せ助成を求めています。引き続き、集落の負担軽減に向けて検討し、県にも強く要望していきたいと考えています。

向山 もっと風雪に負けない強固な固定柵を設置すべきでないか。
市長 現在の金網固定柵の整備単価は、ほぼ国の補助事業における単価上限額となっており、強固な侵入防止柵の整備には、補助対象外による多額の費用を要するので、金網固定柵の維

持管理の徹底に加え、日ごろからの見回り体制を強化するなど、協議会を通じて設置集落へ改めて要請し、補強材の提供などに努めたいと考えています。



捕獲されたイノシシ



**坂井北部丘陵地の
農業振興について**

八木 坂井北部丘陵地の農業の現状はどうなっているか。
市長 大根やスイカ、カシヨ、キャベツなどの露地栽培のほか、メロンやトマトなどを中心とした施設園芸、柿や梨、ブルーベリーなどの果樹、また近年ではイチゴやブドウなども作付されるなど、県内屈指の園芸産地と位置づけられています。

しかし、生産農家の高齢化が進む一方で後継者不足も生じており、専業農家においても、労働力の低下による経営規模の縮小が大きな問題となつていきます。

**八木 農業後継者づく
りのため、どのような取
り組みを行っているか。**

市長 丘陵地農業支援センターでは、新規就農者の受け入れや農地の集積を進めています。
新規就農者の確保については、東京や大阪などで行われる「新農業人フェア」に出展し、就農希望者を募っています。
また、ふくい園芸カレッジと連携し、受講生を支援するため、農業経営を指導する里親の紹介や農地を斡旋しています。その他、各種奨励金や補助金を交付しています。

八木 増え続ける遊休農地の現状と、その取り組みはどのようになっているのか。
市長 坂井北部丘陵地において、借り手が見つからない遊休農地、さらには高齢化による離農で発生する遊休農地の増加が大きな問題となつていきます。
丘陵地農業支援セン

ターでは、農業に参入する企業の誘致や農地の集積、また新規就農者の募集や農地の斡旋などにより、遊休農地の解消に努めているところで



梨畑

八木 広大で貴重な財産である坂井北部丘陵地の農業振興策はどのようになっているのか。
市長 農業振興については、農地の活用や担い手の育成確保と農業と観光を結びつけるという二つの観点から図っていきたいと考えています。

平成30年9月 第94回 あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案	議決結果	議員名																		
		堀田あけみ	室谷陽一郎	山口志代治	仁佐一三	平野時夫	毛利純雄	吉田太一	森之嗣	杉本隆洋	山田重喜	三上薫	八木秀雄	菅原幸信	山川知一郎	北島登	向山信博	坪田正武	卯目ひろみ	
専決処分の承認を求めることについて(平成30年度あわら市一般会計補正予算(第2号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度あわら市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査																			
平成29年度あわら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査																			
平成29年度あわら市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査																			
平成29年度あわら市農業者労働災害共済特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査																			
平成29年度あわら市水道事業会計決算の認定について	継続審査																			
平成29年度あわら市工業用水道事業会計決算の認定について	継続審査																			
平成29年度あわら市公共下水道事業会計決算の認定について	継続審査																			
平成29年度あわら市農業集落排水事業会計決算の認定について	継続審査																			
平成29年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計決算の認定について	継続審査																			
平成29年度あわら市水道事業会計剰余金の処分について	継続審査																			
平成30年度あわら市一般会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわら市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわら市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわら市農業集落排水事業条例及びあわら市農業集落排水事業受益者分担金条例の廃止等に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわら市副市長の選任について	同意	○	△	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書採択について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

激励金・協賛金一覧

あわら市議会議員会は、青少年の育成を目的に、小中学生がスポーツ等で全国大会に出場する場合、内規に基づき激励金を贈っています。また、地域の活性化を図る観点から、各種協賛も行っています。

平成30年度上半期分(4月から9月まで)の激励金・協賛金一覧を掲載します。



7月17日 選手激励 (単位:円)

月	激励金・協賛金の内容	金額
4月	緑の募金	9,000
	金津創作の森友の会年会費	36,000
6月	竹田川フェスタ協賛金	50,000
7月	日本中国友好協会年会費	18,000
	文化協議会賛助会員会費	18,000
	金津まつり「本陣飾り物」PRポスター製作費助成金	100,000
	全国大会等出場激励金(第19回全日本少年少女空手道選手権大会)	10,000
	芦原中学校文化部サマーコンサート協賛金	10,000
	金津中学校サマーコンサート協賛金	10,000
8月	社会福祉協議会特別会費	36,000
	全国大会等出場激励金(第45回全日本中学校陸上競技選手権大会)	5,000
	7月豪雨被害義援金	100,000
	全国大会等出場激励金(第39回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会全国大会)	5,000
	全国大会等出場激励金(第48回全国中学校バドミントン大会)	5,000
合計		412,000

請願・陳情 意見書等

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書採択について

要旨 2017年5月に地方公務員法及び地方自治法の一部改正が成立し、新たに「会計年度任用職員」制度が導入される。非常勤職員を法的に位置づけるとともに、職務給の原則に基づき、常勤職員との均等待遇が求められている。

よって、行政サービスの質の確保と、臨時・非常勤職員の待遇改善、雇用安定の観点から対策を求める。

提出者 自治労福井県本部 執行委員長 橋岡 克典

結果 採択(国へ意見書を提出)

地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

要旨 2019年度の政府予算、地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立をめざすことが必要である。

提出者 自治労福井県本部 執行委員長 橋岡 克典

結果 採択(国へ意見書を提出)

「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要望

要旨 平成31年度のシルバー人材センター事業の推進のために必要なセンターに対する補助金等の確保を要望する。

特に、市区町村においては国の補助金と同額以上の補助金の確保、さらには、センターに対する市区町村等の公共からの事業発注の確保について、強く要望する。

提出者 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

公益社団法人福井県シルバー人材センター連合
公益社団法人あわら市シルバー人材センター 理事長 圓道 紀夫

結果 市へ積極的に取り組むよう要望